

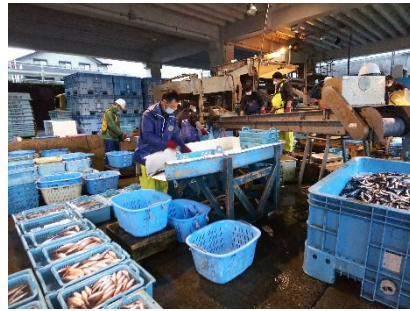
小田原市漁業協同組合

○現在実施している又は今後実施予定の取組

当組合は、相模湾に面した神奈川県西部の小田原市にあります。定置網漁業を中心に、刺し網漁、一本釣り、素潜り漁などの漁業を営んでいます。

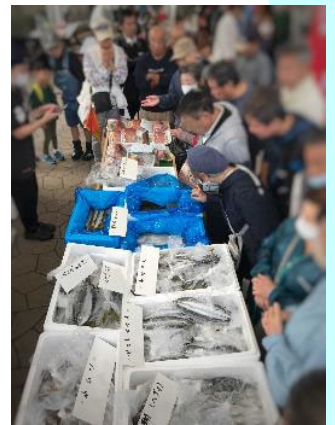
大きな特徴は、魚種の豊富さと鮮度。

- 1) 相模湾は、日本三大深湾といわれ、わずか10キロ沖で水深1,000mに達する急深の海。このため、浮魚類から底魚まで多種多様な魚類が水揚げされます。
- 2) 当組合の定置網の出港時間は午前1時半。午前4時ごろに船に水揚げされた魚は、小田原魚市場に水揚げされ、午前5時半からのセリにかけられ、その日の午前中には量販店や魚屋に陳列されます。鮮度抜群の朝どれの魚を消費者の皆さまに届けるため、深夜から頑張っています。



当組合では、毎月第2土曜日に「小田原・港の朝市」として、鮮魚販売を行っています。春はハナダイやアジ、夏はイサキやイナダ、秋はカマスやカンパチ、冬はヒラメやイシダイなど、四季折々の魚を陳列します。

周辺住民の方に加え、横浜など遠方からも来ていただいております。整理券配布時間の7時から行列ができ始め、9時の販売開始からあっという間に売り切れる、人気イベントです。



また、毎年8月には、当組合が主体となり、魚市場や買受人、市役所等とも協力し、「小田原みなとまつり」を開催しています。朝どれの鮮魚販売、漁船での釣り体験や定置網漁見学、漁船による相模湾クルーズ、相模湾のさわる水族館など、多くのイベントを企画・実行し、多くの方に楽しんでいただいています。

今後、「さかなの日」を通じて、関係者とも連携・協力のもと、さらに、小田原のさかなの魅力の発信に取り組んでまいります。

